

## 「Come Homeプロジェクト」活動中！ そのあなたもカムホーム！

中島香奈

昨年、この法人報で紹介をさせていただいた人材確保プロジェクトを「Come Homeプロジェクト」と命名し、活動しています。この名前には「福祉に興味がある、人と関わるのが好き」という方たちに、「まずは一步、このるうてるホームに来て欲しい」という祈りを込めて名付けました。

Come Homeプロジェクトは、もうすぐ2年目を迎えます。この活動は、就職フェアへの参画、職場体験・見学者への対応、SNSを利用して「ある介護職員の日」の企画などを行っています。

今年度は、8、9月にるうてるホーム独自のプログラム内容で「オープン・カンパニー(旧インターンシップ)」の受け入れを開始します。ホームページやチラシの作成、プログラムの内容と役割分担などを相談しながら綿密に決めていくのには時間と労力がいるりますが、ワクワクしながら進めています。プログラムの一例をあげますと、「介護宙ずり体験！この謎を解明せよ！」というように、一見(?)マジメな私たちが、遊びゴコロを散りばめながらアイデアを出し合っています。このような実際の福祉・介護の現場が体感でき、福祉の仕事の魅力が伝わるプログラムとなるよう、試行錯誤を重ねていきます。

また最近は、学校巡りや実習受け入れを通して学校教職員との関係づくりにも力を入れています。学生の方々が実習に来られた際にも、るうてるホームの理念や想いを、熱い言葉でお伝えしています。実習からアルバイトを経て新卒採用につながり、今年2年目を迎える職員がいることも私たちの喜びです。

このような活動や取り組みをInstagramやX、ホームページなどSNSの活用し、これからどんどん進めていき、更なる充実を図っていきます。

今年度は新たに3名の新メンバーを加え、そこに数えきれないほどの仲間の協力を得ながら、和気あいあいと励んでいきます。ひたすら種を撒き続けるような活動ですが、芽が出ることを祈りながら進めてまいります。

るうてるホームが気になる方がおられましたら、いつでもお問い合わせください。ありのままをお見せいたします。中途採用希望の方には、職場体験や法人説明会、見学のみも随時受け付けています。

少しでも興味をお持ちの方がおられましたら、レッツ！カムホーム！！心よりお待ちしております。



社会福祉法人

## るうてるホーム 法人報

聖書の教えに従って  
お客様を敬い、  
お仕える

### 悲しみを見つめて

「会者定離(えしゃじょうり)」という言葉があります。「会うは別れの始まり」とも言われます。確かにその通りです。別れることは辛く悲しいこと。それまで共に築いてきた関係が終わりを迎えるのですから当然のことです。同時に私は思います。出会うことができたことを感謝し続けたい。「会者定離」をもじって言うならば「離者定会(りしゃじょうえ)」となるでしょうか。旧きと別れるからこそ新しき出会いがある。それは逆説的な表現かもしれませんが。私は常にその両面を視野に入れておきたいと念じています。一期一会の今ここを大切にしたいのです。

『ナルニア国物語』で知られた英国のキリスト教作家C・S・ルイス(1898-1963)。1956年、彼は歳を取ってから17才年下の米国の詩人ジョイ・グreshamと結婚しました。彼女は骨髄癌。1960年に他界。ルイスは深い悲嘆の中で『悲しみを見つめて』(Grief Observed)という書を書きました。これは深い洞察に満ちています。悲嘆はそれを過ぎ越してゆくのではなく、かえって深めてゆく中に不思議な慰めと力とが与えられてゆくものようです。ルイスはそこに「新しい舞踏の型」という一文を書いています。

「そしてその上でどちらかが死ぬ。そしてわたしたちはこのことを、愛が断たれたもののように、踊りが途中で止められるように、花が運悪くそのくびを折られるように、何か先を切られてそのために本来の形を失ったもののように思うのだ。そうだろうか。わたしは死者もまた別離のいたみを味わうとしか思えぬのだが、もしそうなら(そしてこれは死者にとって煉獄の苦しみの一つだろう)、愛する二人にとって、また例外なく、すべての愛する二人にとって、離別は愛の体験のすべてに欠くことのできぬ一部なのだ。求愛の後には結婚が、夏の後には秋があるように、結婚の後にはそれがあるのだ。中途の切断ではなくて一つの段階、舞踏の中断ではなくて次の舞の型なのだ。わたしたちは、愛する者の生きているあいだは、その者によって『自己の外につれ出され』る。それからその舞は悲劇的な型にかわって、相手の肉体は姿を消しても、あいかわらず自己の外につれ出されるようにならねばならず、ふたりの過去を、ふたりの追憶を、ふたりの悲しみを、悲しみからの救いを、ふたりだけの愛を、愛することに舞い戻るのではなくて、彼女その人を愛するようにならねばならない。」(p71-72)

愛する者を失って深い悲しみの中にある方々に平安を祈ります。



理事長・チャプレン  
大柴 譲治

### 後援会ご献金感謝報告

2023年4月1日から2024年3月31日までの献金総合計は、2,055,931円ございました。多額のご献金に感謝申し上げます。今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 2023 年度事業報告・決算と 2024 年度事業計画

常務理事 石倉 智史

2023年度で第3期中期経営計画の半期が終了しました。各事業部の責任者等により進捗を管理し、経営方針に基づき計画をすすめてきました。組織運営の体制強化と管理者育成に継続して取り組む中で、事業をとりまく環境変化にいち早く対応できるよう、各事業において経営改善への意識を高めてきました。物価高騰などへの対応には、府などを通じた対策支援も継続されましたが、建物や設備も整備や更新の時期と重なったことで、経営面で少なからず影響が残りました。また人材確保の面では採用に苦心し、退職者を補うには至らず、大きな課題が残りました。

そのような中、補助金等を活用した業務のICT化や介助浴槽の整備(※)、看護師による夜間オンコール体制を外注化するなど事業運営の生産性向上に取り組んできました。2024年度からの保険者変更や介護報酬改定等により事業環境が変化することにもなった対策についても、市内他事業所とも連携、協働した取り組みを通じて一定の成果が得られ、課題を共有することができました。

2024年度は第3期中期経営計画期間の3分の2が終わることになります。計画内容の進捗状況を

確認し、取り組みを継続するものと見直しを行うものを見極め、より実行力を高めていきます。2024年度は特に事業運営の面においては組織改革を実行し、「将来を担う組織づくり」に集中して取り組むと同時に、適切な人員配置をもとに事業効率を高める取り組みを行ってまいります。業界において人材不足が深刻な課題となっている今、経営戦略が立てられる管理的職員のさらなる育成が必要とされています。内部、外部の事業環境に対して積極的に改善行動をとることのできる人材を登用し、人が辞めない職場、成長できる職場への改革を目指してまいります。

経営基盤安定化の面においては、昨年から続く物価高騰等の影響が残る中であって、建築後10年が経過したことによる設備の補修や更新などの費用の増加が見込まれます。2024年度からの報酬改定、地域区分変更などにより公定価格が低下したと相まって利益率を下げないための経営努力がより一層求められています。

2024年度も私たちのビジョンとミッションに基づいた経営に愚直に取り組み、地域における存在意義がゆるぐことのないよう、事業の発展、強化につながる実践を重ねてまいります。

## 新しい入浴設備フル活動中！

昨年8月に公益財団法人JKAからの補助を受けてミスト式介助浴設備を導入しました。

この浴槽の特徴は従来の湯舟に浸かるタイプのものではなく、細やかなミストで全身をあたため洗うことのできるもので、温浴効果が高められ、心肺機能に不安がある方でも安心して入浴ができる設備です。導入当初から入居者様から好評で、毎日フル活動しています。



## 2023年度決算概況

(2024年3月31日現在)

(単位:千円)

| 資産の部       |           | 負債の部         |           |
|------------|-----------|--------------|-----------|
| 流動資産       | 425,355   | 流動負債         | 101,717   |
| 現金預金       | 327,173   | 事業未払金        | 33,398    |
| 事業未収金      | 93,913    | 短期設備資金借入金    | 51,312    |
| 立替金        | 716       | 賞与引当金        | 17,007    |
| 前払費用       | 3,553     | 固定負債         | 950,498   |
|            |           | 設備資金借入金      | 914,228   |
|            |           | 退職給与引当金      | 36,270    |
| 固定資産       | 1,770,114 | 負債の部合計       | 1,052,215 |
| 基本財産       | 1,318,839 | 純資産の部        |           |
| 土地         | 534,814   | 基本金          | 815,533   |
| 建物         | 784,025   | 国庫補助金等特別積立金  | 258,978   |
| その他の固定資産   | 451,275   | その他の積立金      | 188,616   |
| 建物付属設備・構築物 | 107,853   | 次期繰越活動増減差額   | △ 119,873 |
| 車両運搬・器具備品等 | 17,718    | (うち当期活動増減差額) | 35,860    |
| 投資有価証券     | 100,000   |              |           |
| 積立資産等      | 224,925   |              |           |
| その他の固定資産   | 779       | 純資産合計        | 1,143,254 |
| 資産の部合計     | 2,195,469 | 負債及び純資産の部合計  | 2,195,469 |

事業活動計算書の要旨

(自)2023年4月1日 (至)2024年3月31日

資金収支計算書の要旨

(単位:千円)

| 科目          |               | 金額         | 科目       |               | 金額      |
|-------------|---------------|------------|----------|---------------|---------|
| サービス活動増減の部  | 介護保険収益        | 519,064    | 経常活動収支の部 | 介護保険事業収入      | 519,064 |
|             | 老人福祉事業収益      | 82,613     |          | 老人福祉事業収入      | 82,613  |
|             | 就労支援事業収益      | 546        |          | 就労支援事業収益      | 546     |
|             | 障害福祉サービス事業等収入 | 75,923     |          | 障害福祉サービス等事業収入 | 75,923  |
|             | 医療事業収益        | 5,083      |          | 医療事業収入        | 5,083   |
|             | その他事業収益       | 164        |          | その他事業収入       | 164     |
|             | 寄付金収益         | 2,056      |          | 寄付金収入         | 2,056   |
|             | サービス活動収益計     | 685,449    |          | 受取利息          | 569     |
|             | 人件費           | 444,653    |          | その他収入         | 3,431   |
|             | 事業費           | 86,967     |          | 事業活動収入計       | 689,449 |
|             | 事務費           | 63,769     |          | 人件費           | 449,829 |
|             | 就労支援事業        | 961        |          | 事業費           | 86,967  |
|             | 利用者負担軽減       | 5          |          | 事務費           | 63,769  |
|             | 減価償却費         | 58,410     |          | 就労支援事業        | 961     |
|             | 国庫補助金積立金取崩額   | △ 9,869    |          | 利用者負担軽減       | 5       |
| サービス活動費用計   | 644,896       | 支払利息       | 6,988    |               |         |
| サービス活動増減差額  | 40,553        | その他支出      | 80       |               |         |
| サービス活動外収入   | 3,999         | 事業活動支出計    | 608,599  |               |         |
| サービス活動外支出   | 7,089         | 事業活動資金収支差額 | 80,850   |               |         |
| サービス活動外増減差額 | △ 3,090       | 施設整備等収入    | 7,831    |               |         |
| 経常増減差額      | 37,463        | 施設整備等支出    | 68,985   |               |         |
| 特別収益        | 7,962         | 資金収支差額     | △ 61,154 |               |         |
| 特別費用        | 9,564         | その他活動収入    | 8,041    |               |         |
| 特別増減差額      | △ 1,602       | その他活動支出    | 2,776    |               |         |
| 当期活動増減差額    | 35,861        | 資金収支差額     | 5,265    |               |         |
| 前期繰越活動増減差額  | △ 155,734     | 当期資金収支差額   | 24,961   |               |         |